

# Ⅲ 需要に応じた生産・販売

生産者や集荷業者・団体が、需要に応じて、どのような米をいくら生産・販売するか等を自ら決められるようにすることで、経営の自由度の拡大を目指します。

## (1) 米政策の基本的な考え方

- 平成30年産から、行政による生産数量目標の配分を廃止し、生産者自らの経営判断により需要に応じた生産・販売が行われるようにしました。
- 農林水産省としては、
  - ① 事前契約・複数年契約による安定取引の推進
  - ② 麦・大豆や野菜・果樹、新市場開拓用米（輸出用米等）、加工用米、米粉用米等の、需要のある作物や主食用以外の米への転換に対する財政的な支援
  - ③ 都道府県農業再生協議会等を集めた全国会議を通じた、需給見通し等のきめ細かな情報提供
  - ④ 主食用米を長期計画的に販売する取組等への支援

等により、産地・生産者が、消費者・実需者のニーズを的確につかみ、どのような水田農業を進めていくのかしっかりと判断できるような環境整備に努めてまいります。

## (2) 全国の需給見通し

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和6年10月30日公表）

- 令和7/8年の需給見通し（令和6年10月）では、**令和7年産の主食用米等生産量は、令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の予想収穫量）と同水準の683万トンと設定しています。**

令和6/7年及び令和7/8年の  
主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	683
	令和6/7年主食用米等供給量計	C = A + B	836
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末民間在庫量	E = C - D	162

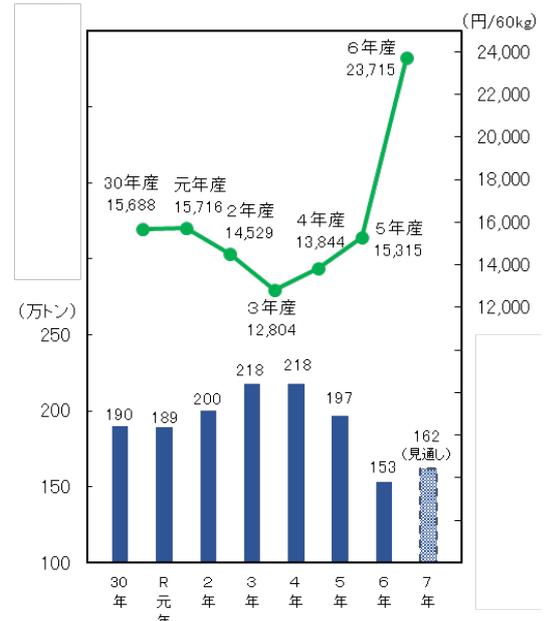
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	162
	令和7年産主食用米等生産量	F	<b>683</b>
	令和7/8年主食用米等供給量計	G = E + F	846
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	I = G - H	182

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の2のSBS方式による輸入米は含まれない。  
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



- 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に**食料・農業・農村政策審議会食糧部会**を開催し、令和7年から令和8年にかけての**需給見通しの見直し**について、改めて諮問することとします。

【参考】  
相対取引価格と民間在庫量の推移



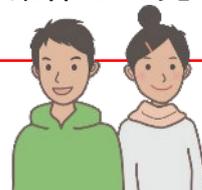
注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産は出回りから令和6年12月までの速報値）の同年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

### (3) 事前契約の取組の推進

今こそ、事前契約が大切です！

- 主食用米の国内消費量の減少は、人口減少により今後も続きます。
- こうした状況下で産地が取り組むべきことは、あらかじめ販路を確保して売れ残りを発生させないことです。

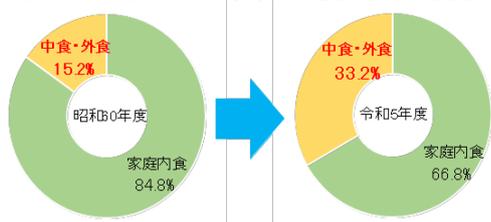
計画的な生産を行う  
重要性が高まっているんだね



消費者が求めるニーズをつかみましょう！

- 主食用米の消費量が減少している一方、消費者ニーズの多様化が進んでいます。

家庭内消費から中食・外食での消費へ



消費者が精米購入時に重視するポイント (例)

- ▶ 美味しさで有名になっている産地や品種
- ▶ 減農薬等こだわりのある栽培方法
- ▶ お得感のある価格
- ▶ 食べ比べがしやすい少量包装

- 多様化するニーズの中で「売れ残り」を発生させないためには産地では、各流通段階の事業者の意向を適切にキャッチし、生産に反映することが大切です。

安定取引を可能とする有効な手法が事前契約です！

産地

生産する米を確実に販売し  
生産者の経営安定を図りたい

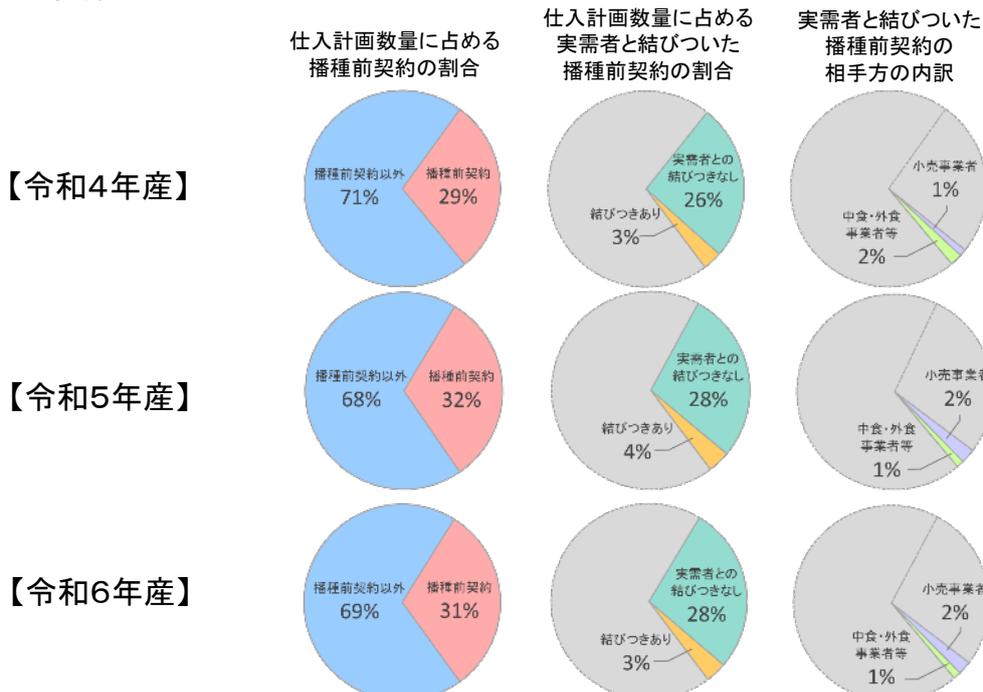


卸売業者・実需者

多様なニーズに対応できる米を安定的  
に調達、消費者に提供・販売したい

### 全国の前契約（播種前契約）取組状況

- 前契約（播種前契約）の割合は、令和6年産で31%、うち実需者と結びついた契約の割合は3%となっています。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」(年間取引数量500ト以上の集出荷業者)

## (4) 需給・価格情報等に関する一層きめ細かな情報提供

- 各産地において、翌年産の主食用米等の作付を的確に判断できるよう、需給・価格、販売進捗・在庫情報等を取りまとめた「米に関するマンスリーレポート」を毎月中旬に発行しています。

### 米に関するマンスリーレポート (令和5年12月号)



うちの郷土料理 山梨風 かつ丼  
山梨県産米を使用したかつ丼

「米に関するマンスリーレポート(マンスレポ)」とは  
→ 米に関する需給や価格の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に発行しています。需要に応じた生産・消費の動向に役立つ情報を提供いたします。

【利用上の注意】  
1. 印刷として利用する場合は、公表日の2週間前までに入手可能なデータも参照してください。  
2. 内容については、必要に応じて誤脱の掲載・修正などの変更を行うことがあります。

データはどう読み解くべきか？  
まんじゅう屋「ここが分からない!! マンスレポ」までメール!  
[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukaku/manrepo\\_kaitetu.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukaku/manrepo_kaitetu.html)

農林水産省

### 「米に関するマンスリーレポート」 目次

#### ■ 特集記事

- 1 米の民間在庫情報
- 2 米の価格情報
- 3 米の契約・販売情報
- 4 消費の動向
- 5 輸出入の動向
- 6 主食用米以外の情報

### ○ 産地別民間在庫量の推移 各産地別、出荷・販売段階別の 在庫量を、毎月調査・公表

	5年産米 令和5年10月				
	7月	8月	9月	10月	
北海道	<b>出荷+販売段階</b>				
	5年産米	126.6	91.0	180.6	259.1
	1年古米(4年産)			112.0	196.8
	<b>出荷段階</b>				
	5年産米	96.4	66.9	144.5	198.6
	1年古米(4年産)			92.1	159.6
<b>販売段階</b>					
5年産米	30.2	24.1	36.1	60.5	
1年古米(4年産)			19.9	37.2	
	25.7	20.3	13.3	20.4	

### ○ 相対取引価格・数量

全国118産地品種銘柄の相対取引価格・数量を、毎月調査・公表

産地	品種銘柄	5年産米 令和5年10月		月別価格				年産平均価格		
		価格 ①	数量 ②	5年産米 (5年9月)		4年産米 (4年10月)		5年産米 出回り 5年10月		4年産米 出回り 5年10月
				対前月比 ③	対前年 同月比 ④	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ②/④	⑤	⑥	対前年比 ⑤/⑥
北海道	ななつぼし	15,520	15,880	15,236	101%	114%	13,628	15,472	14,058	110%
北海道	ゆめぴりか	16,873	7,401	16,890	100%	108%	15,690	16,878	15,451	109%
北海道	きらら397	14,933	1,427	-	-	113%	13,229	14,917	13,520	110%
青森	まつしゅ	14,241	4,397	13,665	104%	112%	12,731	14,022	12,743	110%
青森	つがるロマン	15,042	332	15,003	100%	117%	12,841	15,013	12,986	116%

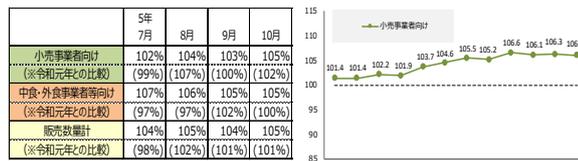
※ 価格については、相対取引価格のほか、スポット取引価格、小売価格(POSデータ)を掲載

### ○ 仕向先別の販売価格・数量

米の販売事業者に対し、「小売事業者」「中食・外食事業者等」別の精米の販売価格・数量を、毎月調査・公表

販売数量の動向(対前年比)

販売価格の動向(前年同月比)



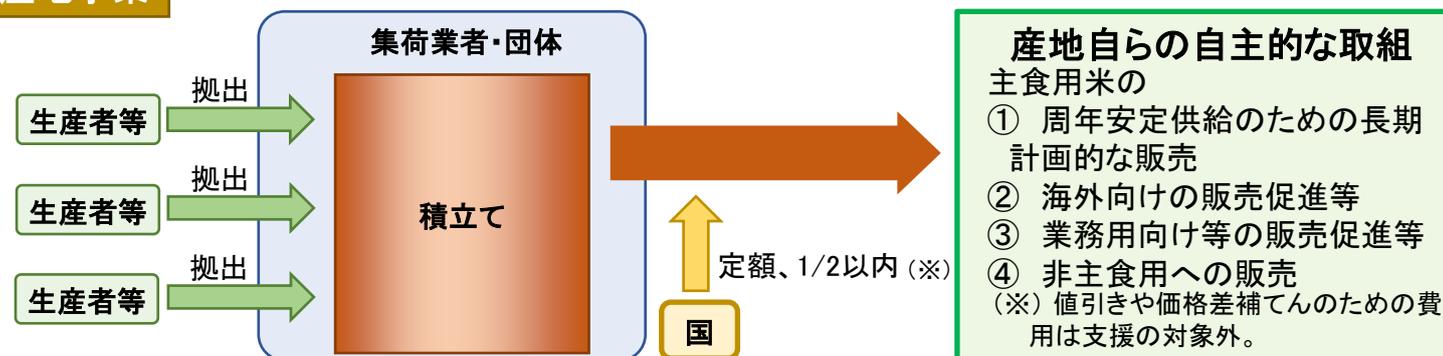
## (5) 米穀周年供給・需要拡大支援事業で産地の自主的な取組を支援

- 需要に応じた生産が行われたとしても、豊作等により需給緩和が生じる可能性があることから、産地ごとにあらかじめ生産者等が積立てを行った上で、自主的に長期計画的な販売や海外用等他用途への販売を行う取組等に支援する米穀周年供給・需要拡大支援事業を措置しています。

### 全国事業

- ・民間団体が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けた展示商談会を支援(定額)
- ・新たな需要拡大に向けた商品開発・ニーズに基づく播種前契約を支援(定額、1/2以内)
- ・海外業務用需要等の新たな市場開拓を支援(定額)

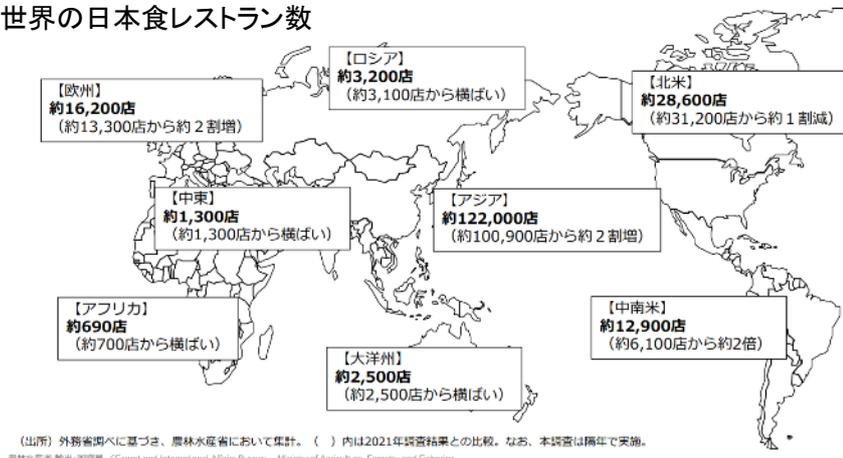
### 産地事業



## (6) コメの輸出拡大を支援

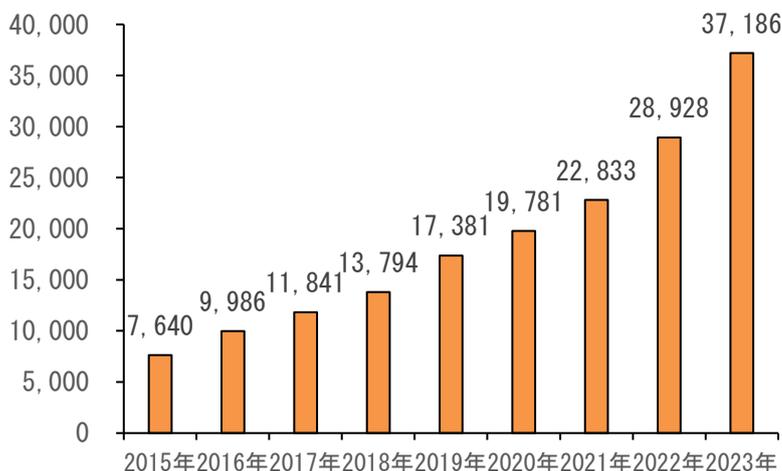
- 国内では、コメの消費量の減少に加えて、2010年をピークに人口減少の局面に入っていることから、年間需要量は毎年8~10万トンずつ減少してきていますが、海外に目を転じれば、日本食レストラン数は増加傾向にある等、日本食のマーケットは世界で広がりつつあります。
- このような中、コメについても新たな海外需要開拓を図っていくことが喫緊の課題となっています。

### ●世界の日本食レストラン数



- このような中、輸出事業者による需要開拓の結果、近年、コメの輸出は増加してきました。中には、多量に日本産米を取り扱う日本食チェーン店も存在しています。

### ●コメの輸出実績



### ●多量に日本産米を使用している外食チェーンの例



華御結  
(香港)



元気寿司  
(香港)

- コメ・コメ加工品の輸出では、一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が会員である輸出事業者や産地とともにオールジャパンでの需要開拓等を担ってきました。
- 令和4年12月5日付けで、全米輸は「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」（輸出促進法）に基づき、「コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品」の認定品目団体として認定を受けました。
- 全米輸では、引き続き、オールジャパンでの需要開拓や現地ニーズの把握、商談会の開催等、業界全体の輸出力強化につながる活動を企画・展開し、また、輸出に関心のある方々への専門家による相談・サポートを行っています。



●認定品目団体認定式の様子



令和4年度  
農林水産物等輸出促進全国協議会総会